

第15回「議員と語りかい」報告書

(国分東：No.1)

開催日時	平成27年5月19日（火）曜日 午後7時00分～8時30分
開催場所	国分ふれあいの郷
参加人数	23人
出席議員(6人)	池田 綱雄、松元 深、時任 英寛、徳田 修和、前島 広紀、岡村 一二三
役割分担(2班)	班 長（前島 広紀）、副班長（池田 綱雄）、記録係（岡村 一二三）

◆は参加者の質問・要望 ◇は議員の回答

<意見交換会での主な意見等>

◆ 1

- ① 国分小の北側の信号機のところにガードレールがない、必要と思う。
- ② 中央高校のグラウンド内に（野球部、ソフトボール等）、女性の更衣室の必要性を考える。
- ③ 国分小、国分高校の前の歩道に（時間帯によっては子どもたちの送迎時）車が駐車してある、教育委員会で指導があったのだろうか。安全週間であっても、警察官は何も言わない。

◇①【議員回答】今日、こういう意見があったということは広報広聴委員会へつたえるが、館長さんは、まちづくり委員会で行政へ要望を出してほしい。

- ②、③【議員回答】登下校時の路上駐車等については、公安委員会から学校を通じて保護者の方々に注意喚起を求めていく。歩行者、自転車通学等々については、教育委員会を通じて、子どもたちに指導をしていただくようお願いをする。

◆ 2 今年度から保険料の引き上げ案内が来た。介護保険料が上がったというのは大きい。説明をしてもらえれば。

◇【議員回答】今回介護保険の改定が行われた。所得の段階区分を細かく分けて改正になった。3年に1回見直しをする。預かった保険料を保健事業にあてこんでいくが、基金を取り崩しながら事業をしなければならない状況になり、保険料のアップになった。65歳以上の団塊の世代等の高齢化に関わる医療費の上昇を想定して今回改定をした。他市との比較をすることは、いい事か、悪い事かと言うのではなく、他市との、真ん中あたりを設定した。基金も使い尽くすような状況になっている。今後は要介護3の方々からしか施設入所はできない。国は29年度をめどにシステムを作っていく。今回も国の方から上限を設けてそれ以上は上げるなと言う示唆が行われ、それ以下で決めた。原則3年で見直しをしていくのでご理解を頂きたい。

◆ 3

- ① 33名のメンバーで地方創生委員会が設けられた（公募は3名）ということだが、霧島市にとって、市街地、周辺地（横川、福山等々）、とも空き家が多い、空き家対策として30万円の補助金もあるが、市内に3,700軒程度ある、空き家を創生しながら若い方々に住んでもらって、活性化や、空き家対策と地方創生の考え方を市議会がどのように考えておられるのか。マンションがたくさんできているが、高さ制限も色の規制もない、制限が必要と考える。50

年先のことを考えて市政運営をしないといけない。

② 名波ハイタウンに住んでいる、子どもも多いが子どもたちの遊び場がない。東公園は子どもたちが数多く集まって遊んでいるが、名波にもグラウンド（遊び場）の設置をしてほしい。（要望）

◇① 【議員回答】空き家対策について、市の基本方針も定められた。個人の所有件の問題もあるが法律ができたので、それらをもとに有効活用を含めて対策が講じられていくことになる。空き家対策というのは、地方創生の重要課題と感じているので今後検討されていく。